

第2学年 国語科学習指導案

日時 平成16年11月2日(火) 6校時

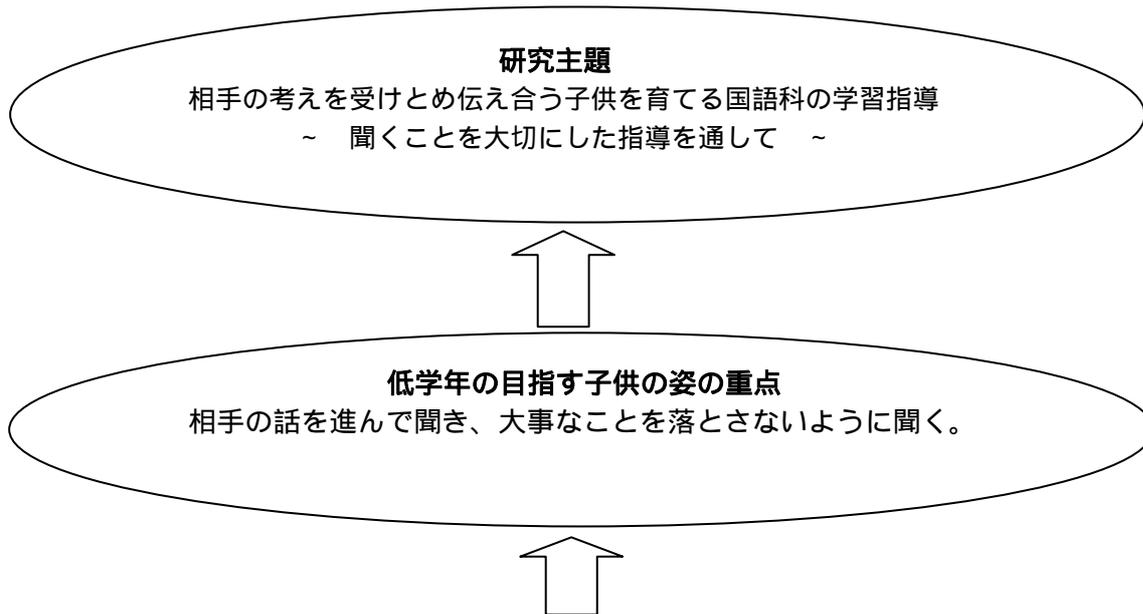
児童 男6名 女9名 計15名

指導者 米 澤 勝

- 1 単元名 お話、大すき
 教材名 三まいのおふだ
 こんなお話を考えた

2 単元について

(1) 子供の実態と研究主題との関連



本単元を通して活用したい力		
話す	聞く	話し合う
順序を考えて話す。	分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねる。	一対一や少人数で、知らせたいことや分かりたい事を話し合う。

子供の実態		
話すこと	聞くこと	話し合い
身近な人に進んで話す。 言葉や表現を考えて2~3文で話す。 大事なことを選んで話す。 順序を考えて話す。 具体物を持ったり、指し示しながら話す。	話し手を見ながら最後まで興味を持って聞く。 順序を考えて聞く。 分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねる。 具体的な観点を持って聞く。	交互に聞き手話し手になって話し合う。 一対一や少人数で、知らせたい事や分かりたいことを話し合う。 話題に沿って話し合う。

(2) 単元について

<p>児童について</p> <p>子供たちは、これまで「おはなしよんで」や、「こんなほんをみつけたよ」の学習で、読み聞かせの体験をしてきている。物語の展開を考えて、場面の様子などについて想像を広げながら話を聞く学習をしてきたこともあり、いろいろな本に親しもうという意欲を持っている。子供たちの多くが本に親しみ、図書室をたくさん利用している。</p> <p>6月に実施した国語の学習に関するアンケートでも、多くの子供が読書をする事が好きと答えている。声に出して読む学習が好きな児童は6割ほどであるが、読む学習については抵抗なく活動することができる。</p> <p>一方で、書く学習に関しては、「生き物かんさつカード」では、見たことを箇条書きに書く活動をしたが、文や言葉を書く活動に抵抗がある子供が若干見受けられた。また、体験したことを書くことについては経験してきているが、想像したことを文章にする経験はあまりない。「あったらいいなこんなもの」では、自分たちの考えた発明品について順序を考えてメモ書きし、発表する学習を行っている。</p>	<p>聞くことについて</p> <p>6月に行った国語の学習に関するアンケートでは、「先生や友達の話聞く」ことが好きと答えている子供が15人中12人であった。また、8割以上の子供が、先生や友達の話聞いていると答えている。</p> <p>このように話の内容を聞き取ろうとする態度の子供が多い反面、話の最中に口をはさむ子供も見られる。そこで、発表や話を最後まで集中して聞く活動をいろいろな場面で指導する必要を感じている。また、言葉遣いが乱暴な子供も見られるので、相手に応じた話し方、聞き方の指導も必要である。</p> <p>「聞き上手な子」においては、表を使っでの指導をしている。友達の考えを自分の考えと比べて聞き、「～さんと似ていて」「～さんと違って」と自分の考えを話す子供が増えてきている。また、話すとき、聞くとき、話し合うときのポイントも紹介しながら指導を行っている。</p> <p>分からないことや詳しく知りたいことなどを尋ねることについても、少しずつできるようにはなってきたはいるが、どのように聞いたらよいか分からないという子供が多い。</p>
<p>教材について</p> <p>本単元は、教材文を中心に、場面の様子について想像を広げながら読み聞かせを聞き、内容の大体をつかむことと、挿絵から簡単な組み立てを考えてお話を書くことがねらいとなっている複合の教材である。</p> <p>教材文「三まいのおふだ」は、紙面いっぱいに挿絵が描かれている。文字を追って読むことを苦手としている子供にとっても、抵抗なく学習に入れるものと思われる。</p> <p>山んばにつかまったときの小坊主の怖さや、波が渦巻くほどの激流を追いかけてくる山んばの速さなどのイメージを広げることができれば、続く絵本作りも、自分のストーリーを楽しみ、登場人物の行動や心情を考えながら絵本を書くことができるだろう。</p> <p>このことから、子供一人一人が「聞いて楽しむ」ことを大事にし、分からないことや詳しく知りたいことを尋ねあうことで、よりイメージ豊かにお話の世界を思い描くのに適した教材である。</p>	<div data-bbox="491 1160 1129 1303" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねる。</p> </div> <p>指導にあたって</p> <p>本教材の学習では、絵を見て、場面の様子などについて想像を広げながら読み聞かせを聞くことが、読むことについてのねらいである。</p> <p>そこで、挿絵から想像したこと、読み取ったことを伝え、交流する機会を作るために、自分の好きな場面を読み聞かせさせる。自分の読み取りや考えを相手に伝え、感想を繰り返し尋ねることで、自分の読み取ったことを再確認したり、自分の読み取ったこととは違う感想に触れさせたりしたい。</p> <p>また、絵本を書く時には表現の工夫に気づかせて、それを「お話作りのポイント」として子供たちに意識させたい。ペア学習では自分たちの作ったお話を読み合った時に、互いの作品がポイントに沿っているかを考えて意見や感想を出し合う場面を取り入れる。</p> <p>互いの考えを交流させることで、イメージを膨らませて自分の作品を見直すようにしていきたい。</p>

3 単元の目標と評価規準

主目標 副目標

	目標	評価規準 (B)
関心 意欲 態度	お話を楽しんで聞き、いろいろな絵本を声に出して読んだり、自分でも考えて絵本を作ろうとしたりする。	会話文や様子、文のまとまりに気を付けて文章を読み、読み手に分かりやすい説明の文章を書こうとしている。
書く こと	組み立てを考えたてお話を書き、読み直して書き直した上で絵本を作ることができる。(ウ, オ)	組み立てを考えたてお話を書き、読み直した上で絵本を作っている。
読む こと	場面の様子などについて想像を広げながら読み聞かせを聞いたり読み聞かせしたりし、大体の内容をつかむことができる。(イ, ウ)	場面の様子などについて想像を広げながら読み聞かせを聞いたり、読み聞かせをしたりして、大体の内容をつかんでいる。
言語 事項	姿勢、口形に注意して、はっきりと読むことができる。(ア(ア)) 長音、拗音、助詞、句読点、かぎ(「」)の使い方を理解して文を書くことができる。(ウ(ア), (イ))	姿勢、口形に注意してはっきりと読んでいる。 長音、拗音、助詞、句読点、かぎを正しく文章の中で使っている。

4 学習指導計画 (18時間 : 書 11、読 7)

過程	時	学 習 活 動	指導上の留意点	具体的評価規準 (B) と評価方法
つかむ	1	挿絵を見ながらお話を聞き、単元の目標をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話のおもしろいところを見つけて、たくさん絵本を読もう。</div>	・絵を見て場面の順番に注意し、教材文がどんなお話だったかを振り返り、感想を発表させる。	お話を聞くことを楽しみ、進んで感想を発表している。 (関・意・態) [発言の様子の観察]
追求する	2・3	3まいのおふだのおもしろいところを見つけて、音読のれんしゅうをしよう。 言葉遣いや、会話のやり取りの面白さに気づき、工夫して音読する。	・挿絵に添えた会話文を音読し、どんな様子で言っているかをグループで話し合わせるようにする。 ・言葉の面白さ、場面の様子などを想像させながら、工夫して音読ができるようにして、読み聞かせにも生かすようにさせる。	会話文や場面のつながりについて、自分なりの工夫で音読している。(読) [音読の様子の観察]
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話をたくさん聞こう。</div> 教師の読み聞かせを聞き、いろいろな絵本に親しむ。	・児童が興味・関心を持ちそうな絵本を教師が用意して読み聞かせ、感想を持たせる。	お話の起承転結をpushさえ、面白いと思ったところを中心に感想を話している。 (読) [発言の様子・ワークシートの分析]
	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本のしょうかいカードを書こう。</div> 自分で本を探して読んで、絵本の紹介カードを書き、読み聞かせの練習をする。	・図書室に昔話などの絵本が置いてあるところを知らせる。また、3冊程度選ばせるが、うち1冊は家にある自分の読み慣れた絵本を用意させる。 ・書き終わった子には、読み聞かせの練習をさせる。	読んだ本の中から紹介したい本を3冊選び、紹介カードに書いている。(読) [ワークシートの分析・発言の様子の観察]

まとめ	6・7 本時	<p>お話フリーマーケットで、じょうずに本の読み聞かせをしよう。</p> <p>色々な人に、自分の好きな絵本の読み聞かせをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人（1年生、大人）に読み聞かせをし、自分の読み方がどうだったか感想を尋ね、ワークシートにチェックしてもらうようにさせる。 	<p>相手の選んだ本から、好きな場面を会話文や様子を工夫して読み聞かせ、感想を尋ねている。（読） [発表の様子の観察 ワークシートの分析]</p>
つかむ	8	<p>絵を見てお話を考えよう。</p> <p>教科書の三枚の絵を見比べ、お話を想像する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵を提示し、絵を見て発想したことを自由に話し合う雰囲気を作り、お話作りへの意欲化を図る。 	<p>お話作りへの意欲を持って、話し合いに参加している。（関・意・態） [発言の様子の観察]</p>
追求する	9	<p>お話をつくるコツを知ろう。</p> <p>教材文を読んで表現の工夫を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵や文章のかかわりや、会話文などに気づくようにさせ、それを「お話作りのポイント」とする。 	<p>会話文をいれると場面がつながるように書くことなどの工夫に気づいて発表している（書）[活動の様子]</p>
	10・11	<p>自分だけのお話をつくらう。</p> <p>教科書の挿絵を組み合わせ、お話を書き始める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵を印刷し、並べ替えができるようにする。 並べたら、「はじめ」の場面が良く分かるように書かせる。 	<p>書き出しの部分に場所や登場する動物、会話文などを書いている。（書）[ワークシートの分析]</p>
	12・13	<p>どんどんお話をつくらう。</p> <p>お話の「なか」「おわり」の部分を書いて、通して読み返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読み返して、「お話作りのポイント」にあっているか確かめさせる。 	<p>場面のつながりや、会話文、行動などを考えて書いている。（書）[ワークシートの分析]</p>
	14	<p>作ったお話を読み合ってもっといいお話を作ろう。</p> <p>書いたお話を読み合っ、アドバイスをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペアで次々に相手を変えて読み合うようにさせる。 「お話作りのポイント」に合っているかを聞き、アドバイスをするようにする。 	<p>友達の質問に答える中で、イメージを広げ、文を直している。（書） [ワークシートの分析、発表時の観察]</p>
	15	<p>なおしたお話を絵本にしよう。</p> <p>絵本の作り方を確かめて、下書きを書き直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用意し、それに書かせるようにする。 	<p>下書きを読み返して、筋道が良く分かるように書き直している。（書）[ワークシートの分析]</p>
まとめ	16・17	<p>絵本の仕上げをしよう。</p> <p>レイアウトを考え、絵を書き、清書をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 後書きや、書いた人の紹介文を書くようにさせる。 	<p>丁寧に書くことを意識し、後書きを書いている。（書）[絵本の分析]</p>
	18	<p>自分の作った絵本の読み聞かせをしよう。</p> <p>自分の書いた絵本を読み聞かせ合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペアで次々に相手を変えて読み合うようにさせる。 聞く児童には、聞くときの観点を確認してワークシートにチェックさせる。 	<p>友達の絵本の読み聞かせを聞いて、感想を持っている。（書）[発表の様子、ワークシートの分析]</p>

5 本時の学習

(1) ねらい 相手の選んだ絵本から、好きな場面を相手に会話文や様子を工夫して読み聞かせをする事ができる。

(2) 授業仮説 絵本のお話を読み聞かせたり、好きな絵本を紹介したりする活動の中で、自分の読み聞かせの感想について尋ねることを、相手を変えて繰り返すことで、より様子や会話文に気をつけて読み聞かせができるであろう。(仮説1)

(3) 展開

段階	時	学 習 活 動	指導上の留意点	具体的評価規準(B)と評価方法
つかむ	5分	1 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">お話フリーマーケットで、じょうずに本の読み聞かせをしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に読み聞かせをするために会話文や周りの様子に気をつけることを押さえさせる。 ・前時までの活動を振り返り、今日は大人を相手にした発表であることを意識させ、相手に応じた話し方を指導する。 	
追 求 す る	30分	2 相手に選んでもらった絵本の好きな場面を読み聞かせする。 (1) 自分の選んだ3冊の絵本から1冊を相手に選んでもらい、本の紹介とともに、自分の選んだ場面を読み聞かせをする。 (2) 読み終わった後、自分の読み方、紹介がどうだったか感想を尋ねる。 (3) その後、人を変えて次々に読み聞かせをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・隊形は、机をコの字にして座らせ、外側を参会者に囲んでもらう形をとる。 ・読む児童は、紹介することや感想の尋ね方をあらかじめ記入してある紹介カードをヒントにして発表してよいことを確認する。 ・途中で、よい読み方や尋ね方をしている児童やもらった感想を次の読み聞かせに生かしている児童を紹介する。 ・児童は、読み聞かせが終わったら聞いてもらった相手に感想を尋ね、紹介カードに評価をしてもらう。発表につまづきのある児童に教師がついて指導をする。 	<p>A 相手の選んだ本から、好きな場面を工夫して読み聞かせ、もらった感想を次の読み聞かせや紹介に生かしている。</p> <p>B 相手の選んだ本から、好きな場面を会話文や様子を工夫して読み聞かせ、感想を尋ねている。</p> <p>C 絵本では好きな場面を読み聞かせること、本の紹介をワークシートに沿ってする事を確認する。 〔ワークシートの分析、発表時の観察〕</p>
ま と め る	10分	3 学習の振り返りをする。 (1) 学習の評価をする。 (2) 何人が代表で、場面の読み聞かせをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りのチェックをさせ、自己評価をさせる。 ・2～3名指名する。 	

三まいのおふだ

お話フリーマーケットで、

じょうずに本の読み聞かせをしよう。

しょうかいするこゝ

- ・出てくる人やどうぶつ
- ・あらすじ

気をつけて読むところ

- ・会話文(なりきっているかな)
- ・まわりのようす

たずねるこゝ

- ・会話文の読みかたについて
- ・まわりのようすの読みかたについて